

1949年 Dream D ドリーム D 型

Honda 初の本格的な二輪車「ドリーム D 型」。C 型の開発・生産を通して得たノウハウを基に開発しました。

エンジンは C 型を改良した 2 ストローク 98cc で、変速機構は手でのクラッチ操作を必要とせず左足のみで変速できる機能を新たに開発しました。

量産性を考えて、車体には鋼板をプレス成形したチャンネルフレームを新たに採用。操縦安定性を向上するため、テレスコピックタイプのフロントサスペンションを他社に先駆けて搭載するなど、随所に先進技術を投入しました。

主要諸元

エンジン形式	2 ストローク単気筒 ローターリーバルブ
排気量	98cc
最高出力	3.5PS/5,000rpm
全長×全幅×全高(mm)	2,070×740×970
総重量	76kg
点火方式	フライホイールマグネット
タンク容量	7L
フレーム形式	チャンネル型プレスフレーム



当時のカタログより